

若モノ×議会まちづくりワークショップについて

1

若モノ×議会まちづくりワークショップ

- ▶ 議会改革の一環として、町の若手のみなさんと、議会メンバーとが、気軽に楽しく意見交換ができる場づくりに挑戦しています。



2



- ▶ 初めての試みとして第1回を昨年の7月に実施。
- ▶ 昨年10月の改選を経て、新たな議会メンバーで第2回を今年の2月に開催しました。

3

視察ラッシュ到来！？

- ▶ 議会主導で若ものたちと対話しよう、という試みは、まだ全国でもあまり例がないようで、県内外の他市町から議員団が視察にお見えになる、ということが起こり始めています。

1月 栃木県市貝町議会ご一行さま

2月 静岡県島田市議会ご一行さま



4

概要4

- ▶ ご指導を頂いている地方自治研究家の松下啓一先生が、当議会の取り組みを題材に書籍を出版される予定です。

“これからの議会必携 はじめてみよう
「若者と議会の明るいワークショップ」
- 使える実践マニュアル -”

松下啓一（著） 千葉県御宿町議会（協力）



5

なぜ “若モノ×議会” なのか

① これからの御宿を担う若い人たちの想い、若手ならではの柔軟な発想を、まちづくりに反映させたい

② “議会”とはどういう組織なのか、“議員”とはどういう人たちなのかを、もっと知ってもらいたい。
理解してもらいたい。



6

ワークショップの様子 (第2回より)

- ① 7名の高校生を含む19名の若モノ+議員10名が参加。
- ② 第1回の参加者だった、高校三年生の吉野ありさんがファシリテーター(進行役)引き受けてくれました。



7

ワークショップの様子 (第2回より)



- ▶とにかく楽しく、堅苦しく考えず、笑顔で、人の意見を否定しない、一人だけ話し続けたい、話しくそうな人がいたら声をかけてあげよう。
- ▶こんな呼びかけのもとで話し合いがスタート。

8

参加者の声 (アンケート自由記述欄より抜粋)

- ① 楽しく参加できた。自分の意見を話したり、人の意見を聞くことが出来て良かった。
- ② いま問題になっていること、解説すべき課題について具体的に知ることができてよかった。
- ③ 前回よりも実りのある話し合いができた。次回もまた参加したい。
- ④ 子ども連れもOKとのことで参加できました。
- ⑤ テーマ別にテーブルが分かれていて話しやすかった。



9

今後の課題 (ワークショップ委員会より抜粋)

- ① さらに多くの若者に参加してもらうための広報手段。
- ② もっと突っ込んだ議論がしたい、もの足りない、という気持ちで帰った方もいたのではないかな。
- ③ 高校生～40代までという設定だったが、小学生や中学生の参加も検討してよいのでは。
- ④ 出して頂いたアイデアをどう実現していくか。

10

若者の声をどう町政に反映させるか

- ▶ ワークショップで出たアイデアを、一般質問などで議員個人が執行部にぶつけても、「できない」と一蹴されてしまうケースがあった。
- ↓
- ▶ **議員個人ではなく議会として**意見を整理した上で、書面で町長に提出し、書面で回答をもらう。これを町民の皆さんにも公表していく。

11

最後に



- ▶ 失敗を恐れず「とにかくやってみる！」。
- ▶ 失敗から学んで「**どんどん次に生かす!**」。
- ▶ 今後ともご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

12